

可児市花いっぱい運動通信 No.4 R2.3.1 発行

第35回可児市花いっぱい運動ポスターコンクール

12月27日、花いっぱい運動ポスターコンクールの表彰式が市役所で行われました。応募総数406点の中から会長賞(最優秀賞)を受賞したネメンヨ ロビさんは「楽しい気持ちがみんなに伝わるように描いた。来年のポスターになるなんて嬉しい」と喜びを語っていました。会長賞の作品は、来年度の啓発ポスターとなります。



受賞者のみなさん



島田 萌暖さんの作品



ネメンヨ ロビさんの作品



藤吉 ひま乃さんの作品



勝部 羽奏さんの作品

【会長賞】広見小 ネメンヨ ロビさん
【市長賞】今渡北小 島田 萌暖さん
【議長賞】今渡北小 藤吉 ひま乃さん
【教育長賞】帝京大学可児小 勝部 羽奏さん
【特別賞】かたびら幼稚園 野村 凜汰さん
帝京大学可児小 佐藤 智仁さん
土田小 マンガリ レイコさん
今渡北小 遠藤 和樂さん
今渡北小 熊澤 華帆さん
帝京大学可児中 藤野 帆ノ奏さん
【他 入選15名】みなさんおめでとうございます

秋の花いっぱい運動のその後

11月10日に実施した秋の花いっぱい運動では、約410㎡の草や枝、2,650kgのごみが集められました。これらはまず、シルバー人材センターと市役所職員の手で袋を開けて分別します。分別されたごみは、各処理施設へ運びます。草や枝は業者により破碎され、約5カ月かけたい肥として生まれ変わります。これからもみんなでまちをきれいにしましょう。

また、つくられたたい肥は4月中旬に市民のみなさまに無料でお配りしますので楽しみに。



草の袋開け



重機で破碎



たい肥完成



ごみの分別



捨てられた処理困難物

元気な花は土づくりから

毎年春と秋に花の育て方講座を実施しており、岐阜県立国際園芸アカデミーの新井先生をお招きし、土づくりから植え付けまでを学ぶことができます。その中でも土づくりは一番初めの工程で、元気な花の生育にとっても大切です。ここでは、実際に講座で行った土づくりの手順を簡単にご紹介します。ひとつの例ですので、実際の花壇の状態に適した土壌改良材や肥料を使いましょう。



○耕し、石雑草をとる
○深さは30cmまで



○パーライト、赤玉土をよく混ぜる

この他にも、
○たい肥、腐葉土をいれ耕す
○化成肥料をいれ耕す
などがあります。

令和2年度可児市花いっぱい運動日程
春5月10日(日) 秋11月8日(日)

可児市花いっぱい運動推進委員会事務局
可児市役所都市整備課
TEL:0574-62-1111